４．起業教育に関する実践報告

未来を興せ株式会社指商

指宿市立指宿商業高等学校　教諭　國料良恵

はじめに

指宿市立指宿商業高等学校は１学年５学級 200 人、全校生徒約 600 人が在籍する創立 70 周年を迎える商業科の専門高校です。「和敬・奉仕・根性」の校訓のもと、資格取得や部活動の活性化・ビジネス教育の実践に取り組んでいます。



平成 24 年４月に、全校生徒 590 人が資金を出し「株式会社指商」を設立しました。高等学校が会社登記するのは全国初の取り組みです。株式会社指商の設立理念は、利益を上げ、利益を地域に還元することです。

生徒は入学すると 1,000 円を出資し株主となり、卒業時に株主でなくなり 1,000 円が返ってきます。株式会社としては定時株主総会で株式の譲渡という形で承認を得ます。在学中株主として、学校で学ぶ商業教育の知識や技術を株式会社で実践しています。

このように設立された「株式会社指商」の第３期の教育活動を紹介いたします。

株式会社指商　定款より（目的）一部抜粋

・地元特産品の物品販売

・特許権、商標権、意匠権などの取得・保有

・地域活性化及び地域文化交流を目的としたイベント企画、人材派遣、運営

株式会社指商第３期事業活動

	日	事　業　活　動
4	7～11	統括事業本部役員募集
	22	統括事業本部役員選考社長面接会 統括事業本部執行役員１０名、事業本部役員１０名決定
	23	そらまＭＥＮ２０１４プロジェクト打ち合わせ会
	30	第３期第１回取締役会
5	2	のぼり・ミニ横断幕デザインコンテスト
	9	いぶすき観光サミット２０１４
	20	そらまＭＥＮ２０１４プロジェクト講座①
	24	第３期株主総会・アイデアコンテスト・指宿ＰＲ活動報告会
	28	納税
6	10～18	指宿地域活性化オリジナル商品開発 「いぶすきそら豆スイーツ」
	11	ファミリーマートオリジナル商品開発打ち合わせ会
	20	九州地区高等学校ＰＴＡ連合大会における販売実習
	20	そらまＭＥＮ２０１４プロジェクト講座②
7	29	そらまＭＥＮ２０１４プロジェクト講座③
8	19	山形屋販売実習事前講習会
	23～24	山形屋販売実習
	27	ファミリーマートオリジナル商品開発に向けての商談会
9	4	ファミリーマートオリジナル商品開発 パッケージデザイン検討会
	5	薩摩今和泉駅看板作成依頼
	22	そらまＭＥＮ２０１４プロジェクト講座④
10	1	南九州ファミリーマート「２０１４下期店長集会」参加
	17～	アイデアコンテスト企画化に向けた打ち合わせ
	24～	そらまＭＥＮ２０１４プロジェクト開発商品プレスリリース
11	1	そらまＭＥＮ２０１４プロジェクト開発商品契約
	2	第２５回指商デパート そらまＭＥＮ２０１４プロジェクト開発商品販売開始
	6	指宿小学校バザーにおける販売実習
2	6	ファミリーマート開発商品販売報告会
	15	いぶすき豆・マメ・まめ祭りにおける販売実習
	24	第３期第２回取締役会
	25	指宿マンゴーブランド化コンサルティング特別授業
	26	薩摩今和泉駅看板設置除幕式
	27	臨時株主総会
3	13	今和泉小学校児童書贈呈式

１．４月統括事業本部役員募集

会社全般の業務を執り行う「統括事業本部」の役員を全校生徒から募集します。統括事業本部は、本部長、副本部長、総務部、営業部、企画部、経理部から成り、各部長・副部長を選任し、選任された生徒が実質的な会社運営を行います。

２．統括事業本部役員選考社長面接会

統括事業本部役員としての意気込みや熱意を知るために、４～５人を１グループとした集団面接会を実施します。面接官は、代表取締役社長、取締役、校長、事務長などです。募集時に作文課題＝「あなたが執行役員として会社に貢献できること」を与え、面接に臨みます。面接官は作文課題を基に質問をします。応募者が多数だったため、統括事業本部執行役員 10 名、事業本部役員 10 名をそれぞれ任命しました。





３．取締役会

株式会社運営係（校務分掌として設置、現在教務部に所属している。商業科以外の職員も配置される。株式会社の実質的な運営や企業との交渉、取締役会との連携などを担当している。）と、取締役と連携して不定期に開かれます。代表取締役社長、取締役、監査役、統括事業本部執行役員 10 名、株式会社運営係が出席します。

４．株主総会

法人化された株式会社であるので、会社法に準じて会社の経営を行う必要があり、全校生徒が株主として議決に参加します。

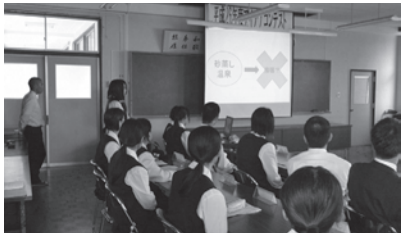
第１号議案　株式譲渡の件
第２号議案　第二期事業活動報告
第３号議案　第二期決算報告および監査報告
第４号議案　第三期事業活動計画
第５号議案　取締役選任の件





５．アイデアコンテスト

株式会社で実施する事業を決定するために、年度末に１・２年生全員から実施したい地域活性化につながる事業のアイデアを募集します。春休み課題として一人一アイデアを考えさせます。新年度２年生は課題研究、３年生は総合実践で学級ごとにそのアイデアを発表するプレゼン会を実施し、各学級





からクラス代表を選出します。選出された作品を取締役や行政、企業の方に発表し、事業化に向けて取り組んでいます。第３期は３つの事業が具体的に進行しました。

６．納税

株主総会で決算が承認された後、統括事業本部の経理部長、副部長が確定申告を行うため税務署に行き、納税をしました。

	税の種類	金　　額
国	法人税	６３，４００
	復興法人税	６，３００
県	法人県民税	２４，１００
	法人事業税	１１，４００
	特別事業税	９，２００
市	法人市民税	５９，２００
	合　計	１７３，６００



７．指宿観光サミット２０１４

「株式会社指商」主催で、指宿市観光課とＪＲ九州を招き、指宿とＪＲ九州の現状についての講話を頂き、食・観光・流通をキーワードに指宿の観光活性化のアイデアを検討しました。





８．指宿地域活性化オリジナル商品開発

生産量日本一を誇るそら豆　そら豆スイーツとして６店舗９種類販売中 →→　６店舗のそら豆スイーツを集め、パッケージングしたお土産を開発

指宿市観光協会と協議し、「指宿お土産プロジェクト事業部」を立ち上げました。地元特産品を使った商品を開発し、お土産として販売する計画を立てました。指宿市内にある複数の菓子店から協力を得て、各店のそら豆スイーツを集め、パッケージングしたお土産「いぶすきそら豆スイーツ」を開発、

発売しました。包装紙は自分たちでデザインしました。



９. 九州地区高等学校ＰＴＡ連合大会における販売実習

鹿児島市民文化ホール正面玄関前庭園にて、オリジナル商品「いぶすきそら豆スイーツ」等の販売実習を行いました。売れ行きも好調で 300 箱完売しました。地域ＰＲパンフレット等も配布し、地域活性化にも貢献しました。





10. 山形屋販売実習

株式会社山形屋（百貨店）依頼を受けて販売実習を行いました。全生徒を対象に募集し、53 名の生徒が参加しました。百貨店での販売についての事前講習会に、山形屋の販売トレーナーが講義と実践練習を指導してくださいました。自社開発商品や地域特産品等 58 品目を販売し、２日間で 1,200 名の来客がありました。







11. 第 25 回指商デパート

生徒が取引企業と話し合い、仕入れから販売・決算までをおこなう本校のキャリア教育の集大成として位置づけている行事で、地域にも秋の行事として定着しています。第 25 回を記念して､大抽選会やご当地キャラクター「薩摩剣士隼人・つんつん」との記念撮影・握手会を実施し、来場者は約 5,500 人でした。学級ごとに１年生が食堂部、２・３年生が店舗経営を行います。

１年生はビジネス基礎、２年生は課題研究、３年生は総合実践の授業で、仕入・店舗設計・販売・決算に至る商品の流通の在り方について体系的に学習します。４月当初から準備に入り 11 月の本番、その後は、事後処理と次年度への引継などに入ります。







▽　販売商品　▽
指宿特産品
食料品・菓子
野菜・果物
韓国物産
高校関連携
観葉食物
家電製品
スポーツ用品など
▽　イベント　▽
第 25 回記念大抽選会
薩摩剣士隼人&つんつんと記念撮影・握手会
保育園児舞台発表
本校生徒舞台発表

12. 指宿小学校バザーでの販売実習

地域貢献の一環として、指宿小学校バザー会場で駄菓子と自社開発商品等を販売しました。







13. 薩摩今和泉駅観光看板作成

ＪＲ九州から薩摩今和泉駅の看板作成依頼を受け、全生徒に文字・イラス







トデザインを募集しました。本校職員・ＪＲ九州担当者による選考会を行い、制作は美術部に依頼しました。完成時には、看板披露式典を行いました。

14. 第３回豆・マメ・まめ祭りイベント企画・販売実習

指宿駅前広場で自社開発商品等の販売実習と、アイデアコンテスト提案企画をアレンジしてイベントを実施しました。駅前商店街を活性化させる目的で、商店街を歩かないと解けないようなクイズ問題を生徒が考えました。指宿市観光協会の協賛を得て、クイズ正解者 10 名に指宿の特産品をプレゼントしました。





15. 第二回取締役会

臨時株主総会招集の承認、第三期活動報告・仮決算報告、絵本寄贈について審議、社長賞授与の承認などを得ました。

16. 指宿マンゴーブランド化コンサルティング特別授業

指宿マンゴーブランド協会・全国生産者会のれん会より、共同商品開発の依頼を受け、『「指宿マンゴー」をブランド化せよ！』をテーマに特別授業を開催しました。「地域特産品のブランド化」・「商品開発」のためのイベント案・企画立案など、１年生・２年生の 369 案の応募から８案が採用されました。現在、新商品開発に向けて始動しています。

17. 臨時株主総会

３年生の卒業にあたり、臨時の株主総会を開催しました。

(1)株主総会議案事項について
　第１号議案　第三期事業活動報告
　第２号議案　第二期仮決算報告
　第３号議案　今和泉小学校へ絵本寄贈について
(2)社長賞授与について

18. 今和泉小学校児童書贈呈式

地域貢献事業の一環として、臨時株主総会の決議を受け、今和泉小学校へ児童書を寄贈しました。





19. そらまＭＥＮプロジェクト２０１４①～④

本校で行っています知的財産教育は「地域活性化」をテーマとしており、今年で５年目を迎えます。知的財産教育の活動に「オリジナル商品の開発」があり、この活動から生まれたキャラクターに「そらまＭＥＮ」があります。この「そらまＭＥＮ」を活用した新しい商品を開発し、指宿の活性化を高校から発信していくことを目的としています。

そらまＭＥＮ開発者谷門里香氏（平成 21 年卒、そらまＭＥＮの意匠権保有者）と、そらまＭＥＮグッズを製造・販売する株式会社コピオンの協力を得て、そらまＭＥＮオリジナル商品の企画立案、企画案検討、試作品作成、販売促進などを行いました。携帯マスコットクリーナー、プクプクシール、靴下、メモ帳の４種類を新たに開発しました。鹿児島県庁、ＫＫＢ鹿児島放送、ＭＢＣ南日本放送、指宿市役所、南日本新聞指宿支局などにプレスリリースに行きました。







知的財産権を踏まえ、開発商品のロイヤルティーを付加した物品売買取引契約・商品化許諾契約について学習し、株式会社コピオンと物品売買取引契約、谷門里香氏と商品化許諾契約を締結しました。

※物品売買取引契約に関する知的財産権を踏まえた契約条文（ロイヤルティー）

第９条　乙は、当月〇日までに前月製造分の物品に対するロイヤルティーとして、売上高（消費税を除く金額）の〇%を甲に支払うものとする。

※商品化許諾契約に関する知的財産権を踏まえた契約条文

乙は甲に対し、前条に基づく本権利の使用の対価について、売上高（消費税を除く金額）の〇%を甲に支払うものとする。

20. ファミマ選手権向け商品企画・開発



統括事業本部執行役員の営業部・企画部を中心「指商デパート」に向けて、オリジナル商品を企画・開発しました。

第 25 回記念指商デパートのため、過去に開発した「芋Ｄｅシュー」復刻版に決定しました。試作品をもとに、味や製法・価格等の検討を実施しました。試食等を繰り返し、最終的には、当時のオリジナルレシピを復刻させることに決定しました。ただし、パッケージデザインは、生徒が再検討することになりました。

また、南九州ファミリーマート「２０１４年度 下期店長集会 」へ参加し、試食ブースでの試食・商品説明の実習に参加しました。そして、指商デパート当日は、600 個完売しました。

さらに、復刻版「芋Ｄｅシュー」の販売報告と今後の展望について、販売報告会を行いました。ファミリーマートからの報告を受け、統括事業本部執行役員と次期商品開発希望者により、来年度への取組等についての打合せなどを行いました。







おわりに

おかげさまで、株式会社指商は３周年を迎えることができました。これもひとえに、地域や企業の方々の日頃のご支援・ご協力の賜物です。実務的・実践的なビジネス教育を展開するには、課題が山積するばかりです。日々学ぶことばかりですが、株主である生徒の意欲に我々職員は喚起されながら、企業の方々の協力の下、日々会社を運営しています。株式会社を立ち上げたからには、株式会社を存続させることは社会的責任だと思います。私たち株式会社指商が未来を興していくこと願っています。